

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	関係法規・制度	担当者	黒澤	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	1	学年	2	分類	必修
		(時間)	30	授業方法	講義		実務経験のある教員科目
授業の概要	美容師に必要な美容師法、に関連する様々な法規について修得させる。						
学習目的	美容師や美容所に係る関係法規を学び、法令を守った美容の業を行うことを学ぶ。						
学習目標	美容師国家試験の合格は必須であり、美容師に不可欠な美容師法の理解と修得を目標とする。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
2年1学期4月	社会生活における法の役割	法とは何か、規範について学ぶ					
1学期5月	法の形式	日本の法令体系、憲法・条約・法律・命令・自治法規について					
1学期5月	衛生法規	衛生法規の意義と分類、生活衛生法規					
1学期6月	美容師法と付属法令	美容師法・美容師法施行令・厚生労働省令・美容師法施行条例・美容師法施行規則等について					
1学期6月	衛生行政の意義と歴史	衛生行政の意義、行政とは何か、衛生行政の歴史					
1学期7月	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	衛生行政の分類とその中の生活衛生行政					
2学期9月	衛生行政を担う機関	厚生労働省、都道府県及び市町村、保健所のそれぞれの役割					
2学期9月	美容師法用語の定義	美容の定義、美容師の定義、美容所の定義					
2学期10月	美容師に関する規定	養成施設、試験、免許、登録、業務停止、免許取消、再免許、管理美容師等について					
2学期10月	美容所に関する規定	美容所の開設、開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務等について					
2学期11月	立入検査と環境衛生監視員	美容師法第14条、美容師法第28条					
2学期11月	違反者に対する行政処分	違反者に対しての行政処分と不利益処分の手続き、違法または不当な処分等についての審査請求					
2学期12月	罰則	美容師法の罰則					
3学期1月	関連法規	美容業の運営に関する法律					
3学期2月	関連法規	美容業の衛生に関する法律					
教科書	関係法規・制度 日本理容美容教育センター						
参考書							
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	衛生管理	担当者	大田	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	3	学年	1、2	分類	必修
		(時間)	90	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	2年間で前半は衛生の基本的な考え方を主に指導し、後半は感染症や消毒法等美容師としての基礎知識を重点的に学ぶ。						
学習目的	美容師の業務についてから衛生について必要な知識を学び、実務に応用できるようにする。						
学習目標	美容師国家試験の合格は必須であり、また衛生の知識を習得し、実務に生かす。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	公衆衛生	公衆衛生の意義と課題また歴史について学び、美容師と公衆衛生との関係性を学んでいく。					
1学期5月	保健	保健所と美容業の関係から、我が国の保健の仕組みや行政、保健の種類等について学ぶ。					
1学期6月	環境衛生	環境衛生の目的、意義、活動等を学び、空気環境、衣服・住居の衛生、上・下水道、廃棄物、衛生害虫、環境保全等をそれぞれ学ぶ。					
1学期7月	感染症総論	感染症に係る法律や感染症の分類、病原微生物について。					
2学期9月	感染症の予防	人体の感受性や発病までの経緯、免疫と予防接種、発生の要因、予防の3原則について。					
2学期10月	感染症の各論	主な感染症と感染経路について詳しく学び、それぞれの感染症に対する具体的な対策について。					
2学期11月	消毒法総論	消毒の原理や異議を学び、美容の業務との関係(法の規定や責任等)をふまえ、適用上の注意について学ぶ。					
2学期12月	消毒法各論(理学的消毒法)	紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒等について。					
3学期1月	消毒法各論(化学的消毒法)	アルコール類、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系)、界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジン等の各消毒法について。					
3学期2月～3月	すぐれた消毒法	すぐれた消毒法の条件や注意事項等。					
2年1学期4月	各種消毒法	消毒薬や器具の扱い、希釈液の濃度について学び、消毒薬の希釈法を学ぶ。					
1学期5月	美容所の消毒の実際	美容所における消毒法の原則や消毒設備、用具類の消毒法、手指の消毒について。					
1学期6月	美容所の清潔法の実際	洗剤や清掃、汚物箱、ハエやカなどの駆除について。					
1学期7月	美容所における衛生管理要領 1	目的、施設及び設備、管理、衛生的取扱い等の実践法を学ぶ。					
2学期9月	美容所における衛生管理要領 2	消毒、自主的管理体制の実践法を学ぶ。					
2学期10月～3学期2月まで	国家試験過去問 国家試験ワークブックにより総復習						
教科書	衛生管理 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	保健	担当者	大田	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	3	学年	1、2	分類	必修
		(時間)	90	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	人体の構造や機能について頭頸部を中心に学んだ後、皮膚とその付属器官について詳細を学ぶ。						
学習目的	美容技術と保健との関連性について学ぶ。						
学習目標	美容師国家試験の取得は必須であり、美容師に必要な解剖学、生理学等の基礎知識をつける。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	美容保健と美容師	人体各部の名称、頭部・顔部・頸部の体表解剖学					
1学期5月	骨格器系	骨の種類と構造や骨の連結等学び、骨格器系とのはたらきについて学ぶ。					
1学期6月	筋系	筋の種類と特徴及び表情筋と表情運動。主な骨格筋とその働き					
1学期7月	神経系	神経系の成り立ち。中枢神経と末梢神経					
2学期9月	感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚のそれぞれについて					
2学期10月	血液・循環器系	血液循環の仕組みと循環経路及び、心臓と血管、リンパ管器系のはたらき					
2学期11月	呼吸器系	気道、肺の仕組みとガス交換、呼吸運動					
2学期12月	消化器系	消化管の仕組みとはたらき、消化と物質代謝					
3学期1月	皮膚の構造	皮膚の表面や断面、表皮・真皮・皮下組織等					
3学期2月～3月	皮膚付属器官	毛、脂腺(皮脂腺)、汗腺、爪					
2年1学期4月	皮膚の循環器系	皮膚の血管、リンパ管					
1学期5月	皮膚の神経系	皮膚の神経					
1学期6月	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護、体温調節、知覚作用と皮膚反射、分泌排泄、呼吸、吸収、貯蔵、免疫・解毒・排泄、再生等の各作用について					
1学期7月	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身・精神・栄養・嗜好品・体内病変等との関係、ホルモンとの関係、皮膚・毛・爪の手入れ等					
2学期9月	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚疾患の原因と種類、各皮膚疾患の詳細					
2学期10月～3学期2月まで	国家試験過去問 国家試験ワークブックにより総復習						
教科書	美容保健1, 2 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	香粧品化学	担当者	高山	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	1年(3) 2年(2)	学年	1、2	分類	必修
		(時間)	1年(90) 2年(60)	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	香粧品の品質の特性や規則などを学び、取り扱いと安全性をよく理解し、様々な基礎高商品などの構造と色材、使用方法を学ぶ。						
学習目的	美容師の業務についてから高商品について必要な知識を、学び実務に応用できるようにする。						
学習目標	美容師国家試験の取得は必須であり、香粧品化学の知識を習得し、実務に活かす。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月～5月	香粧品概論①②	香粧品化学の社会的意義と品質特性 香粧品の規制					
1学期6月～7月	香粧品概論③④	香粧品の安全性と取り扱い上の注意 香粧品と安全性					
2学期9月～10月	香粧品用原料①②	香粧品の対象となる人体各部の性状 水性原料、油性原料					
2学期11月～12月	香粧品用原料③④	界面活性剤、高分子化合物 色材、香料					
3学期1月～3月	香粧品用原料⑤ 基礎香粧品①	その他の配分成分、ネイル・マツエク用材料 皮膚清掃用香粧品、化粧水					
2年1学期4月～5月	基礎化粧品② メイクアップ用香粧品①	クリーム・乳液、その他の基礎香粧品 メイクアップ用香粧品の種類と剤形					
1学期6月～7月	メイクアップ用香粧品② 頭皮・毛髪用香粧品①	ポイントメイクアップ香粧品 シャンプー剤、スタイリング剤					
2学期9月～10月	頭皮・毛髪用香粧品②③	パーマ剤 ヘアカラー剤					
2学期11月～12月	頭皮・毛髪用香粧品④ 芳香製品と特殊香粧品①	育毛剤 芳香製品、特殊香粧品					
3学期1月～2月	付録①②	付録1～7 付録8～13					
3学期1月～2月	付録③ 国家試験対策①	付録14～20 国家試験合格に向けた練習問題①②					
3学期1月～2月	国家試験対策②③	国家試験合格に向けた練習問題③④ 国家試験合格に向けた練習問題⑤⑥					
3学期1月～2月	国家試験対策④⑤	国家試験合格に向けた練習問題⑦⑧ 国家試験合格に向けた練習問題⑨⑩					
3学期1月～2月	国家試験対策⑥⑦	国家試験合格に向けた練習問題⑪⑫ 国家試験合格に向けた練習問題⑬⑭					
3学期1月～2月	国家試験対策⑧⑨	国家試験合格に向けた練習問題⑮⑯ 国家試験合格に向けた練習問題⑰⑱					
教科書	香粧品化学 日本理容美容教育センター						
参考書							
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	文化論	担当者	大塚	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1、2	分類	必修
		(時間)	60	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	美容に携わるものとして我が国における美容の歴史と文化の形成について考えることを目標とする。また主に、髪型・服装等の支店から日本文化・歴史の理解を深める。						
学習目的	美容師の業務についてから、美容の歴史と文化を役立て、新しい髪型・服装を広げていく。						
学習目標	美容師国家試験の取得は必須であり、美容の歴史と文化を習得し、実務に活かす。						
授 業 計 画							
回	主題	授業内容					
1年1学期4月	総論	美容文化の概要					
1学期5月	日本の美容業の歴史①	理容業・美容業の発生					
1学期6月	日本の美容業の歴史②	江戸時代の理容業・美容業					
1学期7月	日本の美容業の歴史③	現代の理容美容・日本髪①					
2学期9月	日本の美容業の歴史④	日本髪②					
2学期10月	日本の美容業の歴史⑤	日本髪③					
2学期11月	日本の美容業の歴史⑥	日本髪④					
2学期12月	日本の美容業の歴史⑦	日本髪⑤					
3学期1月	ファッション文化史①	現代Ⅰ～Ⅱ(日本編)					
3学期2月～3月	ファッション文化史②	現代Ⅲ～Ⅳ(日本編)					
2年1学期4月	ファッション文化史③	現代Ⅰ～Ⅲ(西洋編)					
1学期5月	ファッション文化史④	現代Ⅳ～Ⅶ(西洋編)					
1学期6月	礼装の種類①	和装の礼装					
1学期7月	礼装の種類②	洋装の礼装					
2年2学期9月	礼装の種類③	まとめ					
2学期10月～ 3学期2月まで	国家試験過去問 国家試験ワークブックにより総復習						
教科書	文化論 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	美容技術理論	担当者	松下、千葉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	5	学年	1,2	分類	必修
		(時間)	150	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	○
授業の概要	I. 実習授業と並行して基礎技術、特殊技術から機械器具の種類・特徴・目的など使用上の注意点を学ぶ。 II. 美容にたずさわる手技、エステ・ネイル・メイク・着付け・色彩・トータル的な基礎を施術と並行して学ぶ。						
学習目的	美容技術と道具、薬剤、化粧品などの関連性について学ぶ。						
学習目標	美容師国家試験の取得は必須であり、美容師に必要な技術、薬剤、化粧品など基礎知識をつける。						
実務経験のある教員科目	美容サロンにおける美容師の実務を9年以上経験した教員が、カット、ヘアセット、パーマなど技術をするうえで必要となる理論的な知識を習得させるための授業を行う。あわせて、美容師国家試験の内容に基づいて学習し、さらに専門的な美容知識を授業を通して指導する科目である。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	美容技術理論 I …美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術における作業姿勢 人体各部の名称 頭部区分等					
1学期5月	美容技術理論 I …美容用具	美容技術における用具類の名称と選定法、手入れ法等					
1学期6月	美容技術理論 I …シャンプーイング	シャンプー剤の成分、種類、施術時の注意点 リンス、コンディショナー、トリートメントの目的、成分、種類 スカルプトリートメントの目的、成分、要素及びマッサージ手技					
1学期7月	美容技術理論 I …ヘアカッティング	基礎理論、ベーシックカット シザーズとレーザーによるカット技法					
2学期9月	美容技術理論 I …パーマメントウェービング	理論、毛髪の構造、ウェーブ形成の仕組み、パーマ剤の種類 パーマメントウェーブ技術					
2学期10月	美容技術理論 I …ヘアセッティング	パーティング、シェーピング、ヘアカーリング、ヘアウェービング					
2学期11月	美容技術理論 I …ヘアセッティング	ブロードドライ、アイロンワーク、アップ、ウィッグ、ヘアピース					
2学期12月	美容技術理論 I …ヘアカラーリング	ヘアカラーの種類と特徴 染毛のメカニズム 色の基本、レベルとアンダートーン					
3学期1月	美容技術理論 I …ヘアカラーリング	ヘアカラーの技術手順					
3学期2月～3月	美容技術理論 II …エステティック	皮膚の構造、カウンセリング、マッサージ理論 フェイシャルケア、フェイシャルマッサージ ボディケア、ボディマッサージ					
2年1学期4月	美容技術理論 II …ネイル技術	ネイル技術の種類、爪の構造とカット形状、ネイル技術の道具 ネイルケアとアーティフィシャルネイル					
1学期5月	美容技術理論 II …メイクアップ	メイクアップの道具、スキンケア ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ、リップ メイクアップ					
1学期6月	美容技術理論 II …メイクアップ	まつ毛エクステンション					
1学期7月	美容技術理論 II …日本髪	日本髪の各部の名称、種類と特徴 装飾品、結髪道具、結髪技術					
2学期9月	美容技術理論 II …着付け	礼装、着物の種類、帯、小物 着物の各部の名称 着付けの一般的要領					
2学期10月～ 3学期2月まで	国家試験過去問 国家試験ワークブックにより総復習						
教科書	美容技術理論 I、II 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	運営管理	担当者	黒澤	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	1	学年	2	分類	必修
		(時間)	30	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	経営やマネジメントを学び、経営者の考え方や責任・役割等を修得し、顧客満足をどう実現するか等方法を考える						
学習目的	従業員として雇用されることからスタートし、将来経営者として成長していくためのノウハウを具体的に学ぶ						
学習目標	経営を考えていくうえで目標を実現させるために多角的に学習する						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
2年1学期4月	経営とは・経営者とは	継続企業の原則、変化、競争、成果、利益等について					
1学期5月	経営資源と経営戦略	経営資源、経営計画、戦略の視点、経営者の視点					
1学期5月	美容業の経営	美容業界の現状、競争の方向性の変化、サービスとしての美容					
1学期6月	資金管理	資金管理の重要性、会計の活用、収支、損益、コスト管理、税金					
1学期6月	人という資源	採用、トレーニングと資格制度、やる気、給与、待遇・福利厚生、労働者の権利等					
1学期7月	健康・安全な労働環境	健康管理、健康課題、作業環境に関する健康問題					
2学期9月	従業員としての視点から	社会人としての責任、社会保険について詳しく学ぶ					
2学期9月	キャリアプラン	準備、キャリアプランのメリット、自己管理、将来設計					
2学期10月	サービスデザイン	価値の構造、価値を実現するシステム、顧客満足					
2学期10月	価値の多様性	人の役割、目立つ価値、実現すべき価値の多種多様性、サービスの範囲					
2学期11月	マーケティング	マーケティング・ミックスの要因(短期的と長期的要因)					
2学期11月	サービスのシステム化	システムとして動く、価値の保持、リーダーの役割					
2学期12月	接客	良い接客、計画と準備、接客力を高める					
3学期1月	接客の実践	店内環境、受付、要望、提案、質問、説明、調整					
3学期2月	接客の実践	謝罪、フォローアップ、クレーム、事故、対策、対処					
教科書	運営管理 日本理容美容教育センター						
参考書							
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	美容実習	担当者	松下、千葉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	30	学年	1,2	分類	必修
		(時間)	900	授業方法	講義、実習	実務経験のある教員科目	○
授業の概要	美容の実技科目として、美容国家試験の実技科目や、美容理論に沿っての美容技術の実践を行う						
学習目的	美容師国家資格を得るうえで修得しておくべき技術を学び、美容技術の基本的技術を修得する						
学習目標	美容師国家試験の合格と美容の基礎技術と基礎知識を身につける						
実務経験のある教員科目	美容サロンにおける美容師の実務を9年以上経験した教員が、カット、ヘアセット、パーマなど技術を取り入れ授業を行う。その実務経験を活かして教員が、美容師国家試験の内容に基づいて、学習する授業を行い、職場で必要になる知識・技術を修得させるために実践授業を通して指導する科目である。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	美容用具の名称と取り扱い、作業姿勢、実習授業に対する心構え等	美容用具の名称を覚え、扱い方を習得する。また、施術の際常に正しい姿勢を保ち、正確な技術が修得できるようにする。授業の準備や片付け等手際よく行う。					
1学期5月	ワインディングの基礎技術と理論	ワインディングの基礎技術として、ブロッキングを正確に取り、オールパーパスから巻き始め、全てのロッドがオンベースで巻き収められることを習得する。					
1学期6月～7月	国家試験の第2課題(ワインディング)	国家試験第2課題のワインディングの構成とオンベース・オフベースの角度の感覚を習得する。					
2学期9月	オールウェーブの基礎技術と理論	オールウェーブの基礎技術として、ローションワーク、コームの扱い方から始め、フィンガーウェーブと4種類のカールの作り方を習得する。					
2学期9月～12月	国家試験の第2課題(オールウェーブ)	国家試験第2課題のオールウェーブの構成を覚え、フィンガーウェーブやカールを正確に作れるように繰り返しの授業を行う。					
2学期9月～12月	国家試験の第2課題(オールウェーブ)	国家試験第2課題のオールウェーブの構成を覚え、フィンガーウェーブやカールを正確に作れるように繰り返しの授業を行う。					
3学期1月～3月	国家試験の第2課題(ワインディング)	国家試験第1課題のワインディングの技術を制限時間内に仕上げ、細部まで確認しながら完成度を上げる。					
3学期1月～3月	国家試験の第2課題(オールウェーブ)	国家試験第2課題のオールウェーブの技術を制限時間内に仕上げ、細部まで確認しながら完成度を上げる。					
2年1学期4月	カットの基礎技術と理論	カットの基礎技術として、シザーズの扱い方や正しいカット技法、正しい姿勢等を学び、国家試験第2課題のカットの展開図を理解する。					
1学期5月	国家試験第1課題(カット)	国家試験第2課題のカットの手順に沿って、全頭を一通りカットできるように学ぶ。また、カットのオンベースを確実に理解する。					
1学期6月	国家試験第1課題(カット)	国家試験第2課題のカットが制限時間内にスムーズに切れるようになることを目標にする。					
1学期7月	衛生技術に対する基礎知識と実践	国家試験の衛生試験の減点ポイントや、衛生の必要性を理解する。また、施術とともに実践しながら習得する。					
2学期9月	美容師国家試験対応授業	美容師国家試験の準備から、第1課題、第2課題、衛生管理までの流れを、実技とともに習得する。					
2学期9月～12月	美容師国家試験対応授業(第1課題、第2課題、衛生実技)	美容師国家試験の全ての課題を合格レベルまで完成させる。					
3学期1月～2月	美容師国家試験対応授業(第1課題、第2課題、衛生実技)	美容師国家試験の全ての課題を合格レベルまで完成させる。					
教科書	美容技術理論 I 日本理容美容教育センター						
参考書	美容実習 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	外国語	担当者	菅澤	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	60	授業方法	講義、実習	実務経験のある教員科目	
授業の概要	卒業後に社会に出た際の適応力等職業教育の観点から英会話を習得できるように授業を進める。						
学習目的	コミュニケーションを意識し、外国人とも会話ができるように基礎的なスピーキングを習得する。						
学習目標	基本的な英単語、熟語、フレーズを教科書を中心にして、歌や音読、パズル等を利用して習得する。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	Let me introduce myself	自己紹介、好きなこと、嫌いなこと					
1学期5月	Nice to meet you,too	挨拶、英語の時制、時間の表現方法					
1学期6月	Welcome to Sunny's Hair Salon	お客様を迎える、丁寧な表現方法					
1学期7月	Thank you for calling	電話での接待、電話で必要な英単語					
2学期9月	Would you like a new hairstyle?	コンサルテーション、髪質の表現					
2学期10月	Is the temperature all right?	シャンプー&トリートメント、英語の発音					
2学期11月	Summary	まとめ スピーキングテスト 1					
2学期12月	Can I cut about two inches off?	ヘアカット、カットの技術の英語,					
3学期1月	Have you had a perm before?	パーマ、現在完了形					
3学期2月～3月	How would you like it colored?	ヘアカラー、色彩の表現					
2年1学期4月	I hope you like it	仕上げ、長さや温度、英語での褒め方					
1学期5月	Here is your new member's card	お会計、、お金、チップの基本					
1学期6月	I am sorry for the inconvenience	クレーム対応、混乱を避ける、英語での謝罪方法					
1学期7月	It is an inspiring experience!	海外研修、街での英会話					
2学期9月	summary	まとめ スピーキングテスト 2					
2学期10月～ 3学期2月まで	美容室でのトータル英会話にての接客対応						
教科書	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	コミュニケーション	担当者	松下、千葉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	3	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	90	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	相手の興味・関心・心理をつかむ聴き方、話し方、話題など総合的に学ぶ						
学習目的	コミュニケーション能力の育成を目的とする						
学習目標	美容師として、コミュニケーション能力を高め、プロとしての話術をレベルアップする						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	コミュニケーション上手になるために	コミュニケーションの基本 挨拶					
1学期5月	～になる(自分の世界を広げてみる)	ファシリテーターになる 話を聞いてもらえる人になる アプローチアブルな人になる					
1学期6月	実践チャレンジ①	お互いのよいところを指摘しあう 挨拶で自分の印象をつくってみる					
1学期7月	自分を知る	自分の強み、魅力は？ 印象のコントロール 自己紹介					
2学期9月	聞く技術	相手の話を正確に聞く 相手の話を整理する 相手にたくさん話してもらい、上手に質問をする					
2学期10月	伝える技術①・・・プレゼンテーション基礎	プレゼンテーションの目的(ゴール)を明確にする 相手を知ることから					
2学期11月	伝える技術②・・・プレゼンテーションステップアップ	話のボリューム 話の順序 ボトルネックを取り除く					
2学期12月	場面別にプレゼンテーションを設計する	説明のプレゼンテーション 実践チャレンジ②					
3学期1月	場面別にプレゼンテーションを設計する	報告のプレゼンテーション 依頼のプレゼンテーション					
3学期2月～3月	面接のコミュニケーション	自分軸と相手軸 面接力の向上 面接成功のポイント					
2年1学期4月	接客のコミュニケーション	接客力の向上 上手の接客のポイント					
1学期5月	心理学を活かしたコミュニケーション	交流分析で自分を知る 人間の3つの自我状態					
1学期6月	心理学を活かしたコミュニケーション	エコグラム 間違ったストローク					
1学期7月	実践チャレンジ③	インタビューをしてみる 説明、報告、依頼をしてみる					
2学期9月	実践チャレンジ④	面接シミュレーション 間違ったコミュニケーションを正す					
2学期10月～ 3学期2月まで	美容室でのトータル営業にの接客対応						
教科書	日本能率協会マネジメントセンター コミュニケーション基本テキスト						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	美容接客	担当者	松下、千葉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	60	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	美容師としての接客マナーや笑顔での対応、敬語の使い方など、総合的な会話力を学ぶ。						
学習目的	美容師として、正しい言葉遣いや接客について学ぶ。						
学習目標	美容師として接客のプロを目指す。						
授 業 計 画							
回	主題	授業内容					
1年1学期4月	第一印象が決めて	差が付く接客の基本					
1学期5月	居心地のよい空間づくり	接客ハート					
1学期6月～7月	売り上げがアップする	好印象な販売メソッド					
2学期9月～10月	お客様の心をつかむために必要な観察力	お客様の視線の先を見る 気づいていますよのサインは出来るだけ早く					
2学期10月～12月	信頼性を高める	商品知識					
3学期1月～3月	見落としがちなお店の雰囲気づくり	他のスタッフへの態度 掃除の確認					
2年1学期4月	売り場での「困った」に対処	お店のルール 相談する クレーム					
1学期5月～7月	また来たくなる接客サービス	基本的のことのレベルを上げる 一方的でなく双方向					
2学期～3学期	実践トレーニング	会話 複数接客 会計時、お見送り					
第15回							
教科書	同文館出版 接客(基本と実践)						
参考書							
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	ビジネスマナー	担当者	松下、千葉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	60	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	社会人としての基本、正しい動作、挨拶、言葉遣い、接客の基礎を学ぶ。						
学習目的	美容師として、正しい動作や言葉遣いについて学び、接客などを学ぶ。						
学習目標	社会人としての心構えや基本的なルールやマナー、また一般常識について学び、理解する。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	社会人としての基本	職場での基本モラル 職場での身だしなみ 職場での人間関係					
1学期5月	正しい動作	挨拶 基本動作					
1学期6月	実践トレーニング	呼ぶ、呼ばれる態度 言葉の受け取り 言われる前に率先 声出し・7大接客用語 ものの受け渡し、扱い ものの示し方					
1学期7月	言葉づかい	話し方、聞き方 敬語 人の呼び方					
2学期9月	実践トレーニング	相手別会話法 社内のコミュニケーション ミーティングや会議					
2学期10月	接客の基礎	接遇 接客対応					
2学期11月	実践トレーニング	お客様の対応例 訪問客に対応する					
2学期12月	電話対応の基礎	電話の受け方 電話のかけ方					
3学期1月	実践トレーニング	予約を受ける アクセスのご案内、各種問い合わせ 電話の注意事項					
3学期2月～3月	一般常識、各種マナー	名刺交換 紹介					
2年1学期4月	実践トレーニング	名刺交換の一連の流れ 紹介の一連の流れ					
1学期5月	訪問、座席の順番	ビジネス訪問 座席、立ち位置の順番					
1学期6月	実践トレーニング	アポイントの取り方 応接室、列車、乗用車、タクシー、エレベーター等での位置					
1学期7月	冠婚葬祭	結婚披露宴 葬儀					
2学期9月	実践トレーニング	面接シュミレーション 間違ったコミュニケーションを直す					
2学期10月～ 3学期2月まで	美容室でのトータル営業にての接客						
教科書	ビジネスマナー 日本理容美容教育センター						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	美容演習	担当者	長倉	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	3	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	90	授業方法	講義、実習	実務経験のある教員科目	○
授業の概要	ネイルアーティストとして必要な知識・技術を基礎から学び、ジェルネイルを中心にベーシックなサロンワークに対応できる技術を修得する						
学習目的	どんなニーズにも対応できるように、多角的な知識を身につける						
学習目標	TBMディプロマ INFA国際ネイル試験						
実務経験のある教員科目	ネイル検定1級以上の資格を持ち、ネイルサロンの経営や、各講習会等の講師をしている教員が、ネイルの基礎技術からネイルアートまでを指導する科目である						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	教材の名称と確認。概論①②と実技①	概論①爪の構造 概論②技靴体系 実技①セッティング/形 デモンストレーション					
1学期5月	概論③と実技①②③④	概論③歴史/病気 実技①セッティング/形 実技②クリーンナップ 実技③ポリッシュ 実技④アート					
1学期6月	概論④と実技④	概論④衛生管理 実技④アート タイムトライアル、特別アートレッスン(チップ提出)					
1学期7月	筆記テスト、実技テスト	概論①～④までの確認テスト JNEC(3級検定)					
2学期9月	gel	gel 座学とデモンストレーション プリント①、②、③/3級gel技術 プリント提出					
2学期10月	gel	gel 座学と実技 プリント④/3級gel技術 JNEC(2級、3級検定) プリント提出					
2学期11月	gel	gel 座学と実技 プリント④/3級gel技術 プリント提出					
2学期12月	筆記テスト、実技テスト	gel座学の確認テスト 特別アートレッスン(チップ提出)					
3学期1月	gel(アート)	gel 座学と実技 プリント④/3級gel技術 プリント提出 アート制作					
3学期2月	gel(アート)	アート制作とプリント提出					
3学期3月	筆記テスト、実技テスト	プリント①、②、③、④の総合テスト アート制作(作品提出)					
2年1学期4月	まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健					
1学期5月	まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションの道具と取扱い					
1学期6月	まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションにおけるカウンセリング					
2学期7月	まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションの装着技術					
2学期9月～ 3学期2月まで	モデルを使い、実践的に施術を行う						
教科書	日本理容美容教育センター美容技術理論②、まつ毛エクステンション						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	メイクアップ	担当者	堀越	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	60	授業方法	講義、実習	実務経験のある教員科目	○
授業の概要	容姿を美しくするという美容の定義についてメイクアップは欠かせないものである。美容師として形態学、色彩心理学、実験心理学等を学びながらサロンワーク・スタジオワークを修得していく						
学習目的	どんなニーズにも対応できるように、多角的な知識を身につける						
学習目標	美容のプロとして要求されるメイクアップの技術を修得する						
実務経験のある教員科目	美容サロンにおける美容師の実務を9年以上経験した教員が、カット、ヘアーセット、パーマなど技術を取り入れ授業を行う。その実務経験を活かして教員が、美容師国家試験の内容に基づいて、学習する授業を行い、職場で必要になる知識・技術を修得させるために実践授業を通して指導する科目である。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	顔の形態学的な観察	顔のプロポーションや骨格、筋肉等を知り、光と陰による立体感を考える					
1学期5月	メイクアップと色彩	色の三属性、マンセル表色系の分類					
1学期6月	皮膚の生理と構造	表皮・真皮・皮下組織・付属器官について					
1学期7月	スキンケア	クレンジングからプロテクティングまでの基本スキンケアの実践					
1年2学期9月	ベースメイクアップ	ファンデーションの種類と塗り方のテクニック					
2学期10月	ベースメイクアップ	スポンジワークとハイライト・ローライト					
2学期11月	アイメイクアップ	アイライン・アイシャドウ・アイラッシュカール・マスカラのテクニック					
2学期12月	アイブロウメイクアップ	眉の整え方、ドローイング・シェーディングのテクニック					
3学期1月	リップメイクアップ	美しい唇の描き方のテクニック					
3学期2月	ブラッシュオン	血色の見方、ハイライト・ローライト・チークルージュ					
3学期3月	ナチュラルメイク	ナチュラルメイクの実践					
2年1学期4月	クールメイク	クールメイクの実践					
1学期5月	グラマラスメイク	グラマラスメイクの実践					
1学期6月	スタジオメイク	傷メイクの作り方と実践					
2学期7月	スタジオメイク	ステージメイクの実践					
2学期9月～ 3学期2月まで	モデルを使い実践的に施術する。						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	美容モード理論	担当者	大塚	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	2	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	60	授業方法	講義	実務経験のある教員科目	
授業の概要	ヘアスタイルの流行を学び、流行で変化するモードの理論と技術を学ぶ。						
学習目的	ファッション、色彩、デザインのルーツを学び知識を習得する。						
学習目標	4シーズン別のカラーイメージ。ファッションを総合的に理解し、プロを目指す。						
授 業 計 画							
年間授業計画	主題	授業内容					
1年1学期4月	ファッションの定義	ファッションの概念 商品と製品 ファッションの条件					
1学期5月～6月	アートとサイエンス	新しい職業教育の概念 デザインとマーケティング マスファッションとハイファッション					
1学期7月	モードのプロセス	情報収集と整理 流行の種類 モードとコア					
2学期9月～10月	ファッションクラスター	クラスター分類の基本 タイプ別クラスター マトリックス分析					
2学期10月～12月	クラスターとファッションテーマ	ファッションイメージ別クラスター クラスターマップの作成					
3学期1月～3月	ブランド化の条件	クラスターの絞り込み 商品化計画					
2年1学期4月	ブランド化の条件	スタイルの分析 ヘアデザインにおけるポイントの意味 ポイントマップの作り方					
1学期5月～6月	ファッションディレクション	確信と確認の相違 定点観測と傾向分析 アドバンスの構成					
1学期7月	フューチャーマーケティング	トレンド情報とスタイリングオフィス 時代的背景とトレンドの必要性 トレンドのよみ方					
2学期9月～10月	トレンドの解読法	トレンド製作の基礎知識 トレンドの活用 正しい発想とものづくり					
2学期10月～12月	ヘアデザイナーの自己啓発法	情報収集と利用 コンセプトワーク デザインワーク					
3学期1月～2月	サロンモード	最新髪型 流行ファッションを集め分析する					
教科書	モード理論 日本理容美容教育センター						
参考書							
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A:90～100点 B:80～89点 C:70～79点 D:60～69点 E:追 再試験合格者 F:59点以下 放棄:0点						

令和2年度 専門課程 シラバス

科目名	総合技術	担当者	八本、島寄	課程名	美容専門課程	学科名	美容科
		単位	4	学年	1,2	分類	選択
		(時間)	120	授業方法	講義、実習	実務経験のある教員科目	○
授業の概要	総合的な美容の実践科目として、受付、カウンセリング、接客、マナー、等のロールプレイングから、美容技術の実践を行う						
学習目的	美容業の実務に係るうえで修得しておくべき技術を学び、実践時にはいち早く戦力として応用できるようにする						
学習目標	美容師になってからの教育カリキュラムの一連の業務の基礎技術と基礎知識をつける						
実務経験のある教員科目	美容サロンにおける美容師の実務を9年以上経験した教員が、カット、ヘアーセット、パーマなど技術を取り入れ授業を行う。その実務経験を活かして教員が、美容師国家試験の内容に基づいて、学習する授業を行い、職場で必要になる知識・技術を修得させるために実践授業を通して指導する科目である。						
授 業 計 画							
回	主題	授業内容					
1年1学期4月	受付	お客様が来店されてから待合までのご案内のロールプレイング					
1学期5月	カウンセリング	施術に入る前の細やかなカウンセリング技術					
1学期6月	接客	電話対応から言葉づかい、立ち居振る舞い等					
1学期7月	シャンプー実習	サイドシャンプーからバックシャンプーまでの技術と、スカルプマッサージ技法					
2学期9月	トリートメント	トリートメントの各種技法					
2学期10月～12月	パーマ	相モデルでの実践、パーマでのデザイン作り					
3学期1月～3月	カラー	ブリーチの技法、トーンアップとトーンダウン、カラーチェンジ					
2年1学期4月	ブロー	ブローテクニック(ショートナチュラル・ロング)					
1学期5月～7月	アップ	各種アップテクニック、日本髪、編み込み技術					
2学期9月～11月	カット	ベーシックカット (ワンレングス)、(グラデーション)					
2学期11月～12月	カット	ベーシックカット (レイヤー)、(セიმレングス)					
2学期11月～12月	カット	デザインカット、メンズカット					
3学期1月	アイロンワーク	ストレートアイロン、ロールアイロンのテクニック					
3学期2月	エステティック	ハンドマッサージ、フェイスマッサージ技法					
3学期3月	着付け	補正、留袖、飾帯の作り方					
教科書							
参考書	店長とスタッフのための「接客」基本と実践(同文館) シャンプー実習室 教具一式						
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判断する。						
評価基準	評価基準は、次の通りとする。 A: 90～100点 B: 80～89点 C: 70～79点 D: 60～69点 E: 追 再試験合格者 F: 59点以下 放棄: 0点						